

平成30年度群馬県中学校新人バレーボール大会 申し合わせ事項

1. 組み合わせ抽選等について

- (1) 県総体大会の1位から4位に入ったチームの地区を地区シードとし総体での順位どおりの位置に入る。各地区大会の最上位のチームが第1シードから第4シードの位置にシードされる。
- (2) 県総体大会でベスト8に入ったチームの地区の4チームを抽選により第5～第8シードの位置にシードする。原則として、下の(3)を適用しながらの抽選とし、第1～第4シードになった地区を配慮しながら行う。
- (3) 同地区から2チーム以上出場している場合は、決勝まで対戦しない(1/2ゾーン)ように、抽選時に配慮する。3チーム以上出場している場合は、準決勝まで対戦しない(1/4ゾーン)ように、抽選時に配慮する。5チーム以上出場している場合は、1回戦では対戦しないように抽選時に配慮する。
- (4) (1)と(2)のシード校の位置が決まったら、各地区の1位扱いチームの抽選を先に行い、その後は原則として、出場チーム数が多く、条件が限られる地区から抽選をして、組合せを作成していく。

2. チーム構成について

- (1) チームは、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名(生徒)・選手登録15名(出場できるのは12名、リベロプレーヤーを含む)・学校職員は1名とする。
 - ①監督は当該校教員とし、監マークを左胸に付ける。
 - ②コーチは当該校教員とし、㊟マークを左胸に付ける。当該校教員以外がコーチとしてベンチ入りする場合は、県中体連バレーボール部より、事前に外部コーチの承認証を取得しておき、大会申込書に承認番号を記入しておく。当日、外部コーチとわかるマークを左胸に付けるか、首にかけておく。承認証は持参しておくこと。
 - ③マネージャーは、生徒のみとする。㊿のマークは付けない。
 - ④学校職員(校長・教頭等)がベンチ入りする場合は、㊿のマークを左胸に付ける。
- (2) エントリー変更は、開始式後、会場の競技責任者にエントリー変更届(競技要項p44に記載・ホームページからダウンロード)を提出する。
- (3) 監督・コーチ(外部コーチを含む)の服装については、シャツとズボンの色等が統一されていることが望ましい。但し、マネージャーは学校のジャージを着用すること。

3. 競技規則及び競技方法・試合順等について

- (1) 日本バレーボール協会規則及び日本中体連バレーボール部規約による。
- (2) 試合順については、別紙「組み合わせ」の通りとする。
- (3) 背番号は、原則として「1～15」とする。(できれば「1～12」)
【注1】ユニフォームからはみ出すパワーパンツの着用及びユニフォームの上からのプロテクターの使用は禁止とする。ソックスはくるぶしが隠れる長さのソックスを着用すること。(スニーカーソックスは認めない)
【注2】チームスタッフの服装はシャツ・長ズボンとし、統一した色であること。なお、首にタオルを掛けないようにする。
【注3】ベンチ入りをするが登録外のメンバーについては、ユニフォームは他の選手と同じものを着用する。
- (4) 監督、キャプテンは、試合前、記録用紙にサインをする。
- (5) リベロは、ゲームキャプテンにも、チームキャプテンにもなれない。
- (6) 監督は、記録席に最も近い席に位置すること。
- (7) 一度、提出されたラインナップは、変更・訂正できない。
- (8) 選手交代は、クイックサブスティチューションで行う。
- (9) リベロの交代は、アタックラインとエンドラインの間のサイドライン上で行う。なお、その際には止まって手を挙げる。
- (10) ゲーム開始及び終了時の整列・あいさつ・握手はオーダー用紙に記入された12名の選手で行う。
- (11) 前のゲーム終了、10分後に次の試合のプロトコルを行う。その後、公式練習へ。
試合が連続する場合は、前のゲーム終了、20分後に次の試合のプロトコルを行う。その後、公式練習へ。
- (12) 練習場所については、会場使用上の諸注意に従うこと。限られた場所なので、譲り合って使うようにすること。
- (13) ワイピングについては各チームで行うこと。ゲーム中は、各自タオルを準備しておく。
- (14) 開場時刻は7:30とする(中学校をお借りする場合、その学校の生徒が7:30まで練習していても問題ない)。監督会議7:40、開始式8:30、試合開始9:00とする。ただし、いずみ体育館については、開場8:00、監督会議8:10、開始式9:00とする。
- (15) ベンチへ、マスコット・だるま・うちわ等を持ち込まない。
- (16) ペットボトルはタオルで巻くなど、ベンチにむき出しで持ち込まないようにする。水筒やスクイズボトルであれば問題ない。

- (17) 開始式はユニフォームで参加することが望ましい。ただし閉会式はユニフォームでなくても良いこととする。
- (18) 大会使用球は男子（モルテン：V4M5000）、女子（ミカサ：MVA400）とする。
- (19) ハチマキ等は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は学校名のみとする。また、腕など身体に文字を書くことは禁止とする。
- (20) 今大会でも、各セットにつきどちらかのチームが13点になった時点で給水タイム（30秒間）を取ることにする。その際の開始と終了の合図は審判の吹笛による。
- (21) 第1試合の生徒役員は第2試合のチームから4名ずつで行う。第2試合以降の生徒役員はその前の試合で敗退したチームから8名とする。準々決勝においては、第3試合で敗退したチームから4名ずつを原則とする。

4. 会場使用について

- (1) 上履きと下履きの区別を付け、下履きはシューズケース等に入れ、各自応援席で保管すること。
- (2) 応援席（卓球ができるくらいのスペースがあるところ）でブルーシート等を敷く場合は、観覧場所の確保をするために、最低でも柵から2mくらい離れた位置とすること。（保護者に事前に伝え、周知徹底すること）
- (3) ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰り、忘れ物等をしないようにすること。
（特にテーピングの後始末やペットボトル・空き缶、弁当屋の空き箱、応援グッズ等）
（保護者が敷地の外で喫煙した際の、灰皿代わりの物の片付け忘れに注意する。）
- (4) 選手・応援生徒・保護者の把握は、各学校の顧問が責任を持って行うこと。
（路上駐車・マナー・ゴミ等含めて）
- (5) 駐車場においては、路上駐車等により付近の住民に迷惑がかからないように、監督を通じて保護者に伝えておくこと。また、駐車できる数が限られているのでなるべく各チーム乗り合わせるようにする。
- (6) 各試合会場の使用上の注意や駐車場については県中体連HPを確認しておくこと。

5. その他

- (1) 各チームとも、生徒役員（記録、ラインジャッジ、点示）の工作在きちんできるようにしておくこと。生徒役員の仕事は、1試合を通じて、同じ生徒が行うようにすることを基本とする。もしも試合の途中（セット間など）で生徒役員が交代する場合は、交代要員も含めた全員が試合前の審判からの指導を受けること。ただし、記録を担当する生徒については交代することはできない。また、生徒役員はユニフォームを着ている登録メンバーが行うことが望ましい。また、熱中症対策のため、水筒を必ずもっていくこと。
- (2) 1日目に準々決勝で敗退した4チームは、2日目に5位～8位決定戦を準決勝、決勝と同じ会場で行うので、参加すること。
- (3) 県大会に参加する顧問の先生は審判をする可能性もあるので、短長両方の笛を用意するようにお願いします。
- (4) 監督、コーチ（登録されている外部コーチ）、学校職員（校長・教頭など）などの関係者以外はフロアに入ることとはできない。関係者以外がフロアに入る場合には本部の許可を得ること。